

文花子育てひろば指定管理者応募事業者概要

	事業者名	社会福祉法人雲柱社	B
1 利用者サービスの向上	(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> 来館できない(しない)人々への呼びかけを、様々な手段を講じて行う。 関係施設等とも連携し、広く地域の人たちにひろばを知ってもらえるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭同士のつながり、共に子育ての相談・協力ができる環境を提供する。 初めての方でも参加しやすい体験会を取り入れる。
	(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 地域における子育て支援の拠点(親子が気軽に利用でき、親子同士の交流を深める)となるための管理運営 相談業務の資質向上のための方策 出張ひろばの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に見守っていただけるよう利用者と地域とのつながりを作っていく。 出張ひろばの実施 ※ 地域子育て支援拠点事業に、親子同士の交流の視点がなかった。
	(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	<ul style="list-style-type: none"> 保護者がわが子の問題にしっかりと向き合えるように時間をかけて利用者支援する。 関係機関との連携を密にし、相互に顔が見える関係をつくり、利用者支援に取り組む。 講演会や企業の協力を得た講習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な見地から利用者へ情報を提供する機会の設置 ※ 上記をふまえ、利用者支援事業の考えについてヒアリングを実施したが、事業自体を理解していなかった。
	(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> 年1回以上、利用者へのアンケートを実施 自己評価を年3回以上実施し、事業への取組と成果について厳しく吟味する。 第三者委員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 年1回アンケートを実施 利用者が自由に意見・要望を投函できるご意見箱の設置 利用者懇談会の実施
2 効率的・効果的な施設の運営	(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な運営を心がけ、配慮の行き届いたひろばを目指す。 法人施設や近隣施設と連携し、0歳から高校生までを視野に入れた切れ目ない子育て支援の拠点をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の運営施設を本部で統括。事務作業を統一することで、専門職員や研修機会の共有等、効率性を有し、経費の適正支出を管理する。
	(2) 施設の維持管理経費を削減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> 環境対策への関心を高め、実際に取り組む。 利用者、子育てひろばに係るすべての人に対して、エネルギー低減への関心を喚起していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営本部で全施設分を集約し、備品や遊具を一括発注する。
	(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 39,379,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 35,500,000円
	(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> 法人の採用基準を満たしている場合は、墨田区在住者を最優先に採用する。 施設の小規模修繕、消耗品などの購入に際しても区内業者の利用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区在住の職員の雇用に努める。 コスト面で大きく差が出ないものは、墨田区内の商店を利用するが、基本は関連会社への一括発注となる。
	(5) 利用者の増加策や施設稼働率(利用率)向上への取組は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン等を活用し、的確かつ迅速な情報発信を行っていく。 地域の協力を得てイベントを実施し、来館につなげていくよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めてでも参加しやすい「体験会」を取り入れる。 ※ イベント開催がメインとなっており、親子が気軽に立ち寄れる場としての提案がない。
	(6) 区民との協働の提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアと利用者との交流を広げ、その関係を地域にまで広げていけるように配慮していく。 民生委員と協働で、高齢者との交流の場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の中学生や高校生に携ってもらえる機会を増やし、子ども達が地域の一人として活躍できる場を設けていきたいと考えている。
3 事業計画の遂行能力	(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> 自己資本比率 平成28年 76.0% 経常損益 平成28年 331,817千円 	<ul style="list-style-type: none"> 自己資本比率 平成28年 29.6% 経常損益 平成28年 446,260千円
	(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ひろば事業：8名体制(常勤職員6名、非常勤職員2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ひろば事業：6名体制(常勤職員5名、非常勤職員1名)
	(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> 主任及び5年間の都内公立ひろば事業責任者を経験したベテラン職員を管理責任者候補者として予定 各種研修の受講 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者に求める資質「気づく力・聞く力・伝える力」、社内異動による経験者の配置(具体的には決めていない。) 各種研修の実施
	(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報、施錠できる保管庫等に厳重に保管する。保管庫の鍵は施設長が管理し、施設長に許可なく開錠できないことにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理についてケース会議の実施 パソコンの書き込み禁止設定 個人情報保護法改正の専門講師による研修実施予定
	(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> 「安全・危機管理業務」の考え方について熟知し、危機対応力を養う。 職員は研修に参加し、資格の取得を目指す。(救命救急等) 	<ul style="list-style-type: none"> 「上級救命救急講習の受講、専門の講師による社内研修の受講、心肺蘇生法訓練人形の設置 平成28年度より本部に「安全対策課」を設置 ※ 事故対応や災害発生時の対策は、児童館での対応内容となっていた。
	(6) 同事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	<ul style="list-style-type: none"> 《墨田区》 ・ 保育所及び保育事業 5か所 ・ 児童館・学童クラブ(分室) 16か所 《他自治体》 ・ 保育所、学童クラブ、児童館、子育てひろば等 33か所(うち子育てひろば9か所) 	<ul style="list-style-type: none"> 《墨田区》 ・ 保育所 1か所 《他自治体》 ・ 保育所 181か所 ・ 学童クラブ、児童館、放課後子ども教室等 83か所(うち児童館併設の子育てひろば1か所)